

人間看護学部

人間看護学科

Department of HUMAN NURSING

母なる湖のもとで私を創る、
人が暮らすこの場所で私の看護を創造する



一人一人の患者さんと向き合い
治りたい気持ちを引き出せる看護師に。

子どものころから救急救命の世界に憧れを持っており、将来は医療の仕事に就きたいと考えていました。滋賀県立大学は身近な公立大学であり、保健師課程も取得できることから進学を決めました。授業を通じて成人クリティカルケアをはじめ、母性や老年、小児など多様な看護の世界に触れ、また彦根市立病院での臨地実習などを経験する中で、自分の適性も見えてきました。現在は、時間と闘いながら多くの患者さんと向き合う急性期の看護ではなく、高齢者を含む慢性期の患者さん一人一人とじっくり向き合う看護に興味を感じています。この大学で学んだ大切なことの一つが「治りたい気持ちをどう引き出すか」つまり患者さんの意識変容を促すという考え方です。そんな思いから、近江楽座の一プロジェクトとして参加している未来看護塾では、病院や障がい者施設、保育園などに出向き、コミュニケーションを重ねています。人格形成につながる様々な出会いや、地域の皆さんとかかわりを持つことは滋賀県立大学ならではの、それが看護師を続けていける力になると 생각합니다。

人間看護学部 人間看護学科3年生
谷 優太さん / 滋賀県立草津高等学校出身

◆アドミッションポリシー

人間看護学部では、多面的な視野に立って人間と健康に関わる問題を解決し、地域に貢献できる看護職者を育成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

求める学生像

- ①人間に対する関心を持ち、対人関係の基礎的能力を有する人（表現力・協調性）
- ②生命、医療、看護に対して強い関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲を有する人（意欲・探求力）
- ③高度な専門的知識を身につけるために必要な確かな基礎学力を有する人（知識・理解）
- ④見出された課題解決に向けて論理的に思考できる基盤を有する人（思考力・判断力）
- ⑤地域社会から国際社会の問題まで広範な関心を持ち、人と協働する力を有する人（関心・協働性）



◆学びのステップ〈4年間の学習フロー〉



CAMPUS LIFE ONE DAY 県大生の一



🕒 1日のスケジュール

- 臨地実習の金曜日
- 8:30 カルテや申し送りから、受持ち患者さんの状態を把握します。実習指導者さんと、今日の看護計画について相談します。指導者さんから細やかなアドバイスをいただきます。看護師さんと一緒に、患者さんや家族へのケアをおこないます。緊張するけれど、看護の醍醐味を感じられる体験です。
- 11:30 午前中の報告と午後のケアの相談をします。
- 12:00 休憩。ごはんを食べていても、メンバーとの会話は、つつい患者さんへの看護についての相談…。
- 13:30 病棟のカンファレンスに参加。学生から質問をすることもあります。看護師さんと一緒に、午後のケアをおこないます。
- 15:00 今日一日の報告をします。学生のカンファレンス。学びや気づきをグループメンバーと共有します。指導者さんと教員と一日のふりかえりをおこない、来週の看護計画を考えます。
- 16:30 受持ち患者さんとスタッフに挨拶をして、今日の実習終了です。
- 17:30 週末なので大学の図書館で調べもの。久しぶりに他の実習グループの友達に会い、おいしいものを食べに行くことに…。リフレッシュも大切です。



人間看護学科 ってこんなところ

看護の対象はすべての人です。地域、そして世界中の人々が、その人らしく健康に生活することを支える「看護」のあり方を探究していきます。また、地域貢献・国際交流活動を行うことも可能です。そういったさまざまな学びや活動の中で、自身の歩む道を見つけ出してください。先輩たちは、看護師だけでなく、保健師、助産師、養護教諭、看護教員、青年海外協力隊員など、国内外で活躍しています。

人間看護学部
人間看護学科
伊丹 君和 教授



基礎看護技術Ⅰ
生活行動および生活の場となる環境について看護の視点から考察し、療養環境を整える看護技術を習得します。



成人クリティカルケア演習
成人期にある患者の生命を守り、安全な回復、治療過程を支えるための援助方法を学習します。

母性看護学演習
マタニティサイクルにある女性の心身、社会的側面から、その適応について学んでいます。

看護キャリアデザイン論
グループワークを通して、看護の役割を深く見つけ、自分を分析して自分の進むべき道を考えます。



エンドオブライフケア演習
生前の面影をできる限り取り戻す「エンゼルメイク」の演習です。人生の最期を迎えた患者さんの尊厳を守ることを学びます。

看護英語
ミシガン州立大学から来た学生さんと交流の場があります。

◆進路状況抜粋 (2016~2018年度卒業生)

〈専門科目の例〉		講義
解剖生理学Ⅰ 人体の構造(解剖学)とその機能(生理学)を統合的に学びます。正常な構造と機能の理解は疾患や障がいの理解に必須であり、看護を含むすべての医療行為に不可欠です。	小児看護学概論 子どもの成長発達について理解し、健全な成長発達を促進する看護を学びます。子どもの権利や看護倫理、また代表的な発達理論など、小児看護の基礎となる知識を修得します。	母性看護学概論 母性看護に関連する諸概念、人の性と生殖のメカニズム、母子保健の動向や施策について理解し、母性看護の役割や機能を学びます。また、妊婦の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、母子とその家族のウェルネスに向けた看護を展開していくための基礎知識を学習します。
人間看護学概論 看護の概念と保健医療福祉システムのなかの看護の役割について学びます。特に、看護の対象である人間を身体的および心理・社会的側面から捉え、人が人として生きることを支える看護のあり方について考えます。	成人看護学概論 成人期の特徴(発達段階、発達課題、健康問題)、生活と健康を守るシステム、地域における成人保健活動の取り組み、病む人の急性期・回復期・慢性期・終末期における看護の特徴について学びます。	在宅看護学概論 在宅看護活動の目的、対象、方法について人々の生活と健康レベルに即して学び、地域における在宅看護活動の特徴を理解します。また、在宅ケアにおける社会資源について理解し、生活自立支援について考えます。
精神看護学概論 精神科医療・看護の歴史および「心の病」を取り巻く社会情勢を理解し、精神科医療の現状や課題について考察します。また、「精神看護」の概念について「心」を病む人へのよう理解し支援するべきかを学びます。さらに「心」を癒すことと「身体を癒すこと」の関連性を踏まえ、看護の持つ普遍性についても考えます。	老年看護学概論 「若い」や「加齢」とは何かを考え、高齢者の身体的・心理的・社会的変化について学びます。また、老年看護に活用できる概念や理論について理解し、高齢者を取り巻く社会状況や社会制度について考えます。	公衆衛生看護学概論 地域で生活する人々(小児・母子・成人・高齢者等)の健康障がいの予防、健康の保持・増進、健康障がいを持つ人々を対象とする公衆衛生看護学の概念、意義、基本的理念について学びます。

◆講座・領域紹介

1.基礎看護学講座

人間看護学の基盤となる理論や方法を追求する講座です。専門基礎領域と基礎看護領域からなります。

① 専門基礎領域

看護学を学ぶために必要な知識(解剖生理学、生化学、微生物学、病理学、疾病論、薬理・薬物、心理など)を学びます。

② 基礎看護領域

看護の基盤となる人間理解、倫理観、問題解決能力を養い、地域で生活する人々の健康問題を具体的にサポートしていくための基礎知識や技術を学びます。

2.成育看護学講座

人間の成長発達に重点をおき、次世代を育てていく人々や、成長していく子どもの発達過程に応じた看護のあり方を追求する講座です。

① 母性看護領域

リプロダクティブ・ヘルス/ライツの観点から、すべてのライフステージにある女性とその家族を中心とした人々を対象に、より高い健康レベルで生活が営めるように支援するための基礎知識や技術を学びます。

② 小児看護領域

子どもとその家族に対し、子どもの最善の利益を考えた看護について学びます。

3.成熟看護学講座

人間として成熟した段階にある成人・老年期を対象にする講座です。人間を包括的連続的に捉え、あらゆる健康状態に対応する看護のあり方を追求します。

① 成人看護領域

健康問題を抱えながら生きる「成人」とその家族に対する看護について学びます。

② 老年看護領域

加齢に伴う変化や疾病・障がいを持つ高齢者へのケアを通して高齢者看護を学びます。

4.環境看護学講座

人と人、人と社会といった人間と環境との関係を中心に、全ての年代を対象に様々な地域・場で健康問題に関わる看護のあり方や、人間のこころ(精神)に関わる看護を追求する講座です。

① 公衆衛生看護領域・在宅看護領域

保健所、市町保健センター、企業、学校、訪問看護ステーションで実施する公衆衛生看護・在宅看護の知識や技術を学習します。

② 精神看護領域

精神疾患・障がいをもつ対象への看護にくわえて、あらゆる状況にある対象への精神的支援や、こころの健康維持・増進に向けた支援の方法について幅広く学びます。また、看護者自身のこころの健康・ストレス対処等についても学習します。

◆教員スタッフとその専門分野

専門基礎	● 安原 治
基礎看護学	● 伊丹 君和 ● 米田 照美 ● 関 恵子 ● 千田 美紀子
母性看護学	● 岩谷 久美子 ● 越山 雅文 ● 古川 洋子 ● 板谷 裕美 ● 渡邊 友美子 ● 藤平 麻理子 ● 濱野 裕華
小児看護学	● 古株 ひろみ ● 川端 智子 ● 玉川 あゆみ
成人看護学	● 糸島 陽子 ● 横井 和美 ● 荒川 千登世 ● 大門 裕子 ● 小野 あゆみ ● 喜多下 真里 ● 中川 美和 ● 生田 宴里
老年看護学	● 岡崎 瑞生 ● 松井 宏樹
在宅看護学	● 河野 益美 ● 森本 安紀
公衆衛生看護学	● 小林 孝子 ● 馬場 文 ● 川口 恭子
精神看護学	● 甘佐 京子 ● 牧野 耕次 ● 下通 友美
教育実践支援室 (人間看護学部部分)	● 大脇 万起子



▲講演会風景

◎人間看護学部附属施設

地域交流看護実践研究センター

(Shiga, Regional Community Reserch Center for Nursing Practice)

地域交流看護実践研究センターでは大学と地域が連携して看護の実践・教育・研究を行っています。卒業後のキャリアアップや生涯学習の場として活用できます。

◆滋賀県内

近江八幡市立総合医療センター
大津市民病院
大津赤十字病院
済生会滋賀県病院
JCHO 滋賀病院
滋賀医科大学医学部附属病院
滋賀県立精神医療センター
滋賀県立小児保健医療センター
滋賀県立総合病院
市立長浜病院
長浜赤十字病院
彦根市立病院

◆滋賀県外

大阪医科大学附属病院
大阪回生病院
大阪赤十字病院
大阪大学医学部附属病院
京都桂病院
京都大学医学部附属病院
神戸大学医学部附属病院
中部ろうさい病院
国立循環器病研究センター
名古屋医療センター
兵庫立こども病院
横浜市立大学附属病院

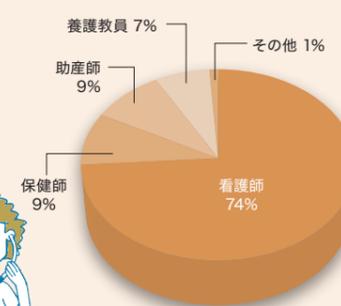
◆養護教員

(学)追手門学院
滋賀県教育委員会

◆保健師

近江八幡市
大阪府
岡山市
岐阜県
岐阜市
京都市
草津市
甲賀市
滋賀県
(一財)滋賀保健研究センター
彦根市
福井県国民健康保険団体連合会
本巢市

2016~2018年度卒業生の職種別就職状況



取得可能な資格一覧※

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格
- 教員免許：養護教諭一種
- 社会福祉士任用資格

OB & OG Message



人間看護学科 2015年度卒業
勤務先：滋賀県 湖東健康福祉事務所
(彦根保健所)

足立 茜さん

地域の皆さんの医療・保健・福祉・生活衛生を支えることが湖東健康福祉事務所の仕事です。私はそこで感染症に関する業務を担当しており、患者さんがきちんと病気を治せるように、そして感染拡大を防止するために保健指導や感染源の調査、接触者の方への検査を実施しています。大学では座学や演習を通して、看護学の基本的な知識を学びました。治療の支援など、直接患者さんや家族さんに関わる業務では、良好な関係を築くための面接技術や傾聴の方法、治りたい気持ちを引き出せるコミュニケーションの学びや強みに視点を置いたアセスメントの仕方など、大学で学んだことが非常に役立っていると感じています。また、保健師課程では個別から地域へと視点を広げて健康課題を抽出し、幅広い視点で課題に対するアプローチを考えていく保健師の専門性について学ぶことができました。また実習では家庭訪問をすることで、その人らしく地域で生活していくとはどういうことなのか、その暮らしを支えるために保健師にできることは何かを考えるきっかけとなりました。今後の目標は、住民の皆さんに信頼される保健師になることです。業務を通じて様々な経験を積み、日々学びを深めていきたいと思っています。(2019年1月現在)

※ すべての資格は、大学が定める所定の科目を履修し、単位を修得する必要があります。